

# AC・Netニュース

NO. 161  
2009年  
1月10日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり有難うございました。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

先月行われました AC・Net12月例会には多数の参加をいただき、  
誠にありがとうございました。

1月の例会は、「ユニバーサルサービス制度」をテーマに下記の通り予定しております。  
皆様ふるってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

## 1月の例会・新年会

◆日時： 2009年1月30日（金）

◆会場： 大阪新阪急ホテル 2F 「紫の間・雪の間」

◆講演会： 15:00～17:00 「紫の間」

「その後の Web2.0、ここまで変わったネット社会とニュービジネス」  
ビデオジャーナリスト

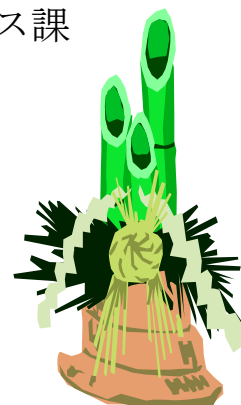
神田 敏晶 氏

「ユニバーサルサービス制度の最近の動向について」  
総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課

企画官

村松 茂 氏

◆懇親会： 17:20～18:30 「雪の間」



**第178回 AC・Net 新年会・例会（1月30日）**

【講師】 神田 敏晶 氏  
ビデオジャーナリスト

【演題】「その後の Web2.0、ここまで変わったネット社会と  
ニュービジネス」

【概要】

昨今、ブログやSNSなどWeb2.0の急速な普及により、これまでの情報の受け手中心のネット社会から自ら送り手になるなど人々の行動様式がネット上で大きく変化しています。

本講演では、国内外のビジネスの現場において「Web2.0後の社会」がいかに進展しているかについて具体例を交え紹介するとともに、ありうべき将来像を語ります。

【講師】 村松 茂 氏  
総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課  
企画官

【演題】「ユニバーサルサービス制度の最近の動向について」

【概要】

電気通信事業法により「国民生活に不可欠であるためあまねく日本全国における提供が確保されるべき」と定められているサービス、それがユニバーサルサービスです。そして、ユニバーサルサービスを提供する電話会社は、「その適切、公平かつ安定的な提供に努めなければならない」とも同法によって定められています。

このような概念に基づく枠組みとして整備・設計され、平成18年度から稼働している制度が、「ユニバーサルサービス制度」です。

本講演では、「ユニバーサルサービス制度」の必要性や現状について分かりやすく説明するとともに、同制度の見直しの内容や今後の在り方についても紹介します



## 第177回 AC・Net (12/9) 例会報告 ～講演会から～

- 場所：大阪新阪急ホテル
- テーマ：「人工衛星」

第177回 AC・Net 例会への多数のご参加、誠にありがとうございました。  
アンケートからご意見を掲載いたします。

### □演題：「人工衛星の開発と打ち上げ」

講師：独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

執行役

本間 正修氏

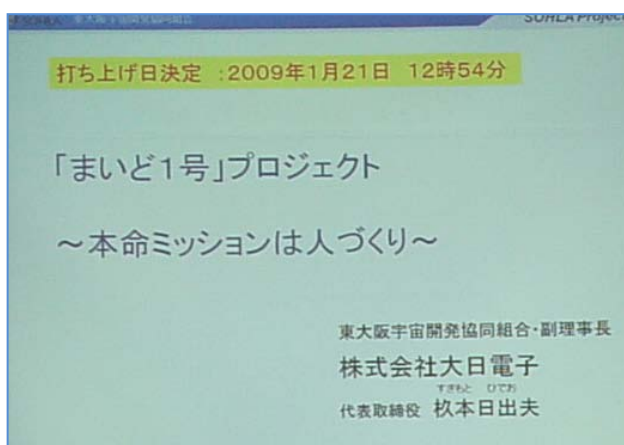
- わかりやすい内容でした。
- 人工衛星の今後がどうなるのか非常に興味が持てました。
- 日本の衛星開発の現状・利用の将来・方向が大変理解出来た。
- 衛星の事業の一端が伺えた。
- 人工衛星の今後がどうなるのか非常に興味が持てました。
- 宇宙利用の種類について位置の利用に特化すべきと思う。通信放送・気象・地球観測・カーナビ等 素晴らしい成果を上げている
- 先進国の中で日本の人工衛星の開発の遅れがありましたが、最近は用途を限定した分野の発展が見られます。早く信頼性の高い人工衛星の開発が進む事を期待します。



□演題:「東大阪町工場から宇宙へ～まいど1号開発秘話～」

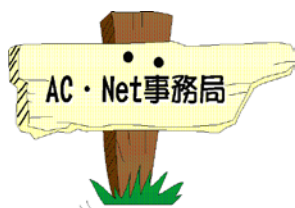
東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)副理事長  
株式会社大日電子 代表取締役  
杵本 日出夫氏

- 物創り・人創りの良い話を聞かせて頂き有効な時間でした。
- 「まいど1号」プロジェクトはもちろん、杵本社長の組織運営の話は非常に良かった。
- 現実の目線に合ったレベルの説明でとても素晴らしい講演が聞けました。ありがとうございます。
- 宇宙での機器の環境に対し立ち足はかかる現実の壁をクリアした事に感動である。
- 生々しい苦労話で大いに共鳴するところがあった。
- 体験に基づくお話は得るところが多かった。中小企業のお話、貴重でした。
- 多くの別々の中小企業による部品製作と官大学によるシステム設計とにより信頼性を確保されたと思いますが、多くの苦心があったものと思います。
- 産学との仕事の難しさは文化の違いから来ているとの事でそこから理解する事で次に行けるのだと思いました。大変だけれどもこれからは必要になりそうです。いいきっかけを頂きました。



12月9日(火)第177回AC・Net例会は、盛会のうちに終了いたしました。  
ご講演いただいた先生方ならびにご参加くださいました皆様大変有難うございました。  
お忙しい中、多数ご参加頂きまして本当にありがとうございました。

【事務局からのお知らせ】



◎講演会の御案内は、メール配信及びKARCのWebサイト(www-karc.nict.go.jp/ACnet)にて行っております。  
◎会員名簿情報に変更がある場合は、事務局までお知らせください。  
〒651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2  
独立行政法人 情報通信研究機構 神戸研究所 未来ICT研究センター内  
TEL/FAX 078-969-2132/2119  
E-mail acnet@po.nict.go.jp